セキュリティ モジュール/エンジン管理

- FXOS セキュリティ モジュール/セキュリティ エンジンについて （1 ページ）
- セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働 （2 ページ）
- セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答 （3 ページ）
- セキュリティ モジュール/エンジンのリセット （4 ページ）
- セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化 （4 ページ）
- ネットワーク モジュールのオフラインまたはオンラインの切り替え （6 ページ）
- インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ （7 ページ）

FXOS セキュリティ モジュール/セキュリティ エンジンについて

FXOS CLI を使用して、セキュリティ モジュール/エンジン の次の機能を実行できます。

- [Decommission]（セキュリティ モジュールのみ）：セキュリティ モジュールを使用停止にすると、セキュリティモジュールはメンテナンスモードに設定されます。また、特定の障害状態を修正するために、セキュリティモジュールを使用停止にしてから再稼働することもできます。セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働 （2 ページ）を参照してください。
- [Acknowledge]：新たにインストールされたセキュリティ モジュールをオンラインにします。セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答 （3 ページ）を参照してください。
- [Power Cycle]：セキュリティ モジュール/エンジンを再起動します。セキュリティ モジュール/エンジンのリセット （4 ページ）を参照してください。
- [Reinitialize]：セキュリティ モジュール/エンジンのハードディスクを再フォーマットし、導入済みのすべてのアプリケーションや設定をセキュリティ モジュール/エンジンから削除し、システムを再起動します。論理デバイスがセキュリティ モジュール/エンジンに設定されている場合は、再初期化が完了すると、Firepower eXtensible Operating System はアプリケーション ソフトウェアをインストールし、論理デバイスを再度導入し、アプリケーションを自動的に起動します。セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化 （4 ページ）を参照してください。

警告 セキュリティ モジュール/エンジンのすべてのアプリケーションデータが再初期化時に削除されます。セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化する前に、すべてのアプリケーションデータをバックアップしておいてください。

- [Power off/on]：セキュリティ モジュール/エンジンの電源状態を切り替えます。インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ （7 ページ）を参照してください。

セキュリティ モジュールの使用停止/再稼働

セキュリティ モジュールを使用停止にすると、セキュリティ モジュール オブジェクトが設定から削除され、そのセキュリティモジュールは管理対象外になります。セキュリティモジュール上で実行していた論理デバイスやソフトウェアは非アクティブになります。

セキュリティ モジュールの使用を一時的に中止する場合に、セキュリティ モジュールを使用停止にできます。また、セキュリティモジュールを再起動してもエラー状態が修正されない場合は、使用停止を試してから、セキュリティモジュールを再稼働させることで、セキュリティモジュールを再初期化しなくてもエラー状態を修正できるかどうかを確認できます。

（注） **delete decommissioned** コマンドを使用してモジュールを削除するには、その前に、モジュールを使用停止にする必要があります。

手順

ステップ 1 モジュールを使用停止にするには、**decommission server** コマンドを入力します。

```
decommission server {ID | chassis-id/blade-id}
```

使用停止にするモジュールをホストしているデバイスの種類によって、モジュールはモジュールIDで識別されるか（4100シリーズ）、シャーシ番号とモジュール番号で識別されます（9300デバイス）。

例：

```
FP9300-A# decommission server 1/2
FP9300-A* #
```

ステップ 2 **commit-buffer** コマンドを入力して変更をコミットします。

ステップ 3 モジュールを再稼働するには、**recommission server** コマンドを入力します。

```
recommission server "vendor" model serial_number server
```

値は次のとおりです。

- *vendor* は、サーバを製造した会社の名前です。入力できる最大文字数は 510 文字です。
- *model* は、サーバ モデル ID（PID）です。入力できる最大文字数は 510 文字です。
- *serial_number* は、サーバのシリアル番号です。入力できる最大文字数は 510 文字です。
- *server* は、インストール スロットです。これは、4100 シリーズ デバイスではオプションとなります。

使用停止にされたモジュールの一覧を表示するには、**show server decommissioned** コマンドを使用します。

例：

```
FP9300-A# recommission server "Cisco Systems, Inc." FPR9K-SM-24 FLM1949C6J1 2
FP9300-A* #
```

ステップ 4 **commit-buffer** コマンドを入力して変更をコミットします。

セキュリティ モジュール/エンジンの確認応答

新しいセキュリティ モジュールがシャーシに取り付けられた後、または既存のモジュールが異なる製品 ID（PID）を持つモジュールで交換された後、セキュリティ モジュールを確認応答してからでなければ、そのモジュールを使用することはできません。

セキュリティ モジュールのステータスが [mismatch] または [token mismatch] として示されている場合、スロットに取り付けたセキュリティ モジュールのデータが、そのスロットに以前インストールされたデータと一致していないことを意味します。セキュリティ モジュールに既存のデータがあり、新しいスロットでそのデータを使用する（つまり、そのセキュリティ モジュールは不注意で誤ったスロットに取り付けられたのではない）場合は、論理デバイスを展開する前に、セキュリティ モジュールを再初期化する必要があります。

手順

ステップ 1 シャーシ モードに入ります。

scope chassis

ステップ 2 交換しないモジュールを使用停止にして物理的に取り外した後、またはモジュールを同じタイプではない（つまり、異なる PID を持つ）別のモジュールと交換した後、**acknowledge slot** コマンドを入力します。

acknowledge slot

例：

```
FP9300-A# scope chassis
FP9300-A /fabric-interconnect # acknowledge slot 2
FP9300-A /fabric-interconnect* #
```

ステップ 3 **commit-buffer** コマンドを入力して設定をコミットします。

セキュリティ モジュール/エンジンのリセット

セキュリティ モジュール/エンジンの電源の再投入を行うには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 /service-profile モードを開始します。

scope service-profile server {*chassis_id*>/*blade_id*}

例：

```
FP9300-A # scope service-profile server 1/1
FP9300-A /org/service-profile #
```

ステップ 2 次のいずれかの **cycle** コマンドを入力します。

- **cycle cycle-immediate**：直ちにモジュールの電源の再投入を行います。
- **cycle cycle-wait**：システムはモジュールで実行中のアプリケーションがシャットダウンするまで最大 5 分待ってから、モジュールの電源の再投入を行います。

例：

```
FP9300-A /org/service-profile # cycle cycle-wait
FP9300-A /org/service-profile* #
```

ステップ 3 バッファをコミットしてモジュールの電源の再投入を行います。

commit-buffer

セキュリティ モジュール/エンジンの再初期化

セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化すると、セキュリティ モジュール/エンジンのハード ディスクがフォーマットされ、インストールされているすべてのアプリケーション インスタンス、設定、およびデータが削除されます。論理デバイスがセキュリティ モジュール/エンジンに設定されている場合は、再初期化が完了すると、FXOS はアプリケーション ソフトウェアを再インストールし、論理デバイスを再度導入して、アプリケーションを自動的に起動します。

⚠

注意 セキュリティ モジュール/エンジンのすべてのアプリケーション データが再初期化時に削除されます。セキュリティ モジュール/エンジンを再初期化する前に、すべてのアプリケーション データをバックアップしておいてください。

手順

ステップ 1 セキュリティ サービス モードを開始します。

scope ssa

ステップ 2 目的のモジュールでスロット モードを開始します。

scope slot {*slot_id*}

例：

```
FP9300-A # scope ssa
FP9300-A /ssa # scope slot 2
FP9300-A /ssa/slot #
```

ステップ 3 **reinitialize** コマンドを入力します。

例：

```
FP9300-A # scope ssa
FP9300-A /ssa # scope slot 2
FP9300-A /ssa/slot # reinitialize
Warning: Reinitializing blade takes a few minutes. All the application data on blade
will get lost. Please backup application running config files before commit-buffer.
FP9300-A /ssa/slot* #
```

ステップ 4 必要に応じて、アプリケーションのコンフィギュレーションファイルをバックアップします。

ステップ 5 モジュールを再初期化するためのバッファをコミットします。

commit-buffer

モジュールが再起動し、そのモジュール上のすべてのデータが削除されます。このプロセスには数分かかることがあります。

ステップ 6 **show detail** コマンドを使用すると、再フォーマット化操作の進行状態、再フォーマット化の結果（成功または失敗）、さらに操作が失敗した場合はエラー コードを確認することができます。

ネットワークモジュールのオフラインまたはオンラインの切り替え

CLI コマンドを使ってネットワーク モジュールをオフラインにしたりオンラインに戻したりするには、次の手順を実行します。この方法は、モジュールのオンライン挿入や削除（OIR）を実行する場合などに使用されます。

（注）

- ネットワーク モジュールを取り外して交換する場合は、お使いのデバイスに該当するインストール ガイドの中で、メンテナンスとアップグレードの章にある指示に従ってください。https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/firepower-ngfw/products-installation-guides-list.htmlを参照してください。

手順

ステップ 1 次のコマンドを使用して /fabric-interconnect モードに入った後、オフラインにする対象のモジュールの /card モードに入ります。

```
scope fabric-interconnect a
scope card ID
```

ステップ 2 **show detail** コマンドを使用すると、このカードに関する、現在のステータスなどの情報を表示することができます。

ステップ 3 モジュールをオフラインにするには、次のコマンドを入力します。

```
set adminstate offline
```

ステップ 4 **commit-buffer** コマンドを入力して、設定の変更内容を保存します。

再度 **show detail** コマンドを使用すると、モジュールがオフラインであることを確認できます。

ステップ 5 ネットワーク モジュールをオンラインに戻すには、次のコマンドを入力します。

```
set adminstate online
commit-buffer
```

例

```
FP9300-A# scope fabric-interconnect a
FP9300-A /fabric-interconnect # scope card 2
FP9300-A /fabric-interconnect/card # show detail

Fabric Card:
    Id: 2
```

```
    Description: Firepower 4x40G QSFP NM
    Number of Ports: 16
    State: Online
    Vendor: Cisco Systems, Inc.
    Model: FPR-NM-4X40G
    HW Revision: 0
    Serial (SN): JAD191601DE
    Perf: N/A
    Admin State: Online
    Power State: Online
    Presence: Equipped
    Thermal Status: N/A
    Voltage Status: N/A
FP9300-A /fabric-interconnect/card # set adminstate offline
FP9300-A /fabric-interconnect/card* # commit-buffer
FP9300-A /fabric-interconnect/card # show detail

Fabric Card:
    Id: 2
    Description: Firepower 4x40G QSFP NM
    Number of Ports: 16
    State: Offline
    Vendor: Cisco Systems, Inc.
    Model: FPR-NM-4X40G
    HW Revision: 0
    Serial (SN): JAD191601DE
    Perf: N/A
    Admin State: Offline
    Power State: Off
    Presence: Equipped
    Thermal Status: N/A
    Voltage Status: N/A
FP9300-A /fabric-interconnect/card #
```

インストールされているモジュール/エンジンの電源オン/オフ

セキュリティ モジュールまたはネットワーク モジュールの電源の再投入を行うには、次の手順に従います。

手順

ステップ 1 適切なサービス プロファイルを入力します。例：

scope service-profile server 1/1

ステップ 2 次のいずれかの **cycle** コマンドを入力します。

- **cycle cycle-immediate**：直ちにモジュールの電源の再投入を行います。
- **cycle cycle-wait**：システムはモジュールで実行中のアプリケーションがシャットダウンするまで最大 5 分待ってから、モジュールの電源の再投入を行います。

ステップ 3 **`commit-buffer`** コマンドを入力して要求をコミットします。